

土・まち・みどり

通信第 73 号

2018. 10. 25

発行 NPO法人土とみどりを守る会

連絡先 6421-2118(事務局)

CONTENTS ◆おくさわ風景ワークショップレポート+風景祭 ◆おくさわ今と昔 ◆奥沢の歴史を訪ねて
◆まちめぐり報告 ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

おくさわ風景ワークショップレポート + 風景祭

平成16年3月に奥沢2丁目の一部を対象に、世田谷区で最初の「界わい宣言」が締結されました。

(界わい宣言：<http://tsuchimidori.net/kaiwai/>)

その次のステップとして、「界わい形成地区」の指定をする取り組みが世田谷区都市デザイン課により、昨年度から始まりました。今年度は、都市デザイン課、奥沢交和会と土とみどりを守る会が連携し、玉川総合支所街づくり課、奥沢まちづくりセンターも加わった「おくさわ風景コア会議」で、検討が進められています。

まず、奥沢1～3丁目に呼びかけ、9月22日に、公開ワークショップが開催されました。エリア別に3つのグループに分かれ、自由な話し合いを行い、歴史的建築や緑の保全、色彩の統一、商店街に奥沢らしいテーマを、自由通り、大蛇通り、奥沢1・3丁目の斜めの道をシンボルロードに・・・といった、いくつもの具体的なアイデアが出ました。

10月20～21日に開催された奥沢文化祭では、都市デザイン課と土とみどりを守る会が隣り合わせでブースを設け、奥沢の街づくりのアピールをしました。土とみどりを守る会は、奥沢の街並みを撮影した約12分の映像を上映しました。映像で見る自分の街は新鮮だったようで、多くの人の関心を集めました。

11月18日は、奥沢公園（奥沢1丁目の通称「タイヤ公園」）で「風景祭」が開催されます。奥沢にまつわるクイズに答えると景品のあたる「なぞとき」や、大人も子どもも、理想の街並みを、自由に絵にする「ペイント」、そして綿アメや焼きそばといったお祭りならではの引き立てもある楽しいイベントです。ぜひご家族連れでご参加ください。（堀内）



風景祭

11/18日
11:00 ~ 16:00

会場 奥沢公園【タイヤ公園】
(奥沢1-19)
*雨天時は奥沢交和会館
(奥沢2-18-4) 申込不要

※大抽選会は景品がなくなり次第終了
フードは先入れ先取り

なぞとき・ペイントに
参加して抽選引換券をもらおう!

みどり豊かな住宅地の風景、海蔵村や奥沢村など歴史を感じる風景、祭り
などのにぎわいの風景など様々な風景が楽しめる奥沢。
より多くの人に、奥沢の風景の魅力を知ってもらうため、「風景祭」を開催します。

おくさわ今と昔

(このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方や、新しく移ってきた方など、毎回2人の住民の方が登場し、この街にちなんだエピソードを語っていただいています。)

「この地に住んで」

奥沢一丁目 大道 清子

横浜で生まれて二十余年、緑の多い山の手の高台から見える夏の花火を楽しんで育った浜っ子の私が、奥沢でまれ、奥沢の地で育った主人と出会い、早五十二年の歳月が経ちました。地の利の便利なことはこの上もなく、東急電鉄のおかげで歩いて数分の所に駅があり、友人たちが多く住む横浜にも楽に行くことが出来ました。

主人はここで特定郵便局長として仕事を始めました。私は二人の娘を育てる事の楽しさを味わっておりましたが、急に欠員が出たために仕事を始めることとなりました。卒業の時、学問は門を出ると同時に返してきた私にとっては大変な事でした。試験がとにかく大変でした。どうにか合格通知を頂き、三週間の宿泊研修を二度ほど受けました。いよいよ育児と平行して仕事が始まり、地域の皆様にご利用頂く奥沢一郵便局の一員となったのです。近くに郵便局も銀行も無かったため、ご高齢の方々が喜んで下さいました。

局長は目黒区、大田区、世田谷区の入り組んだ所に足を運び、チラシをポストに配りながら、局と顔を知って頂けるような努力をして参りました。

職員さんも一人、また一人と増えて忙しくなり、特に忙しい時は仕事が終わるのが十時を過ぎるという時もありました。また、お金を照合すると一円多かったり、反対に十円少なかったりする時もありました。その時は、控え伝票にメモ書きをし、代金をお返しにもしくは頂きにお客様のお宅に伺う事も度々ありました。

順調にお客様が増えてきましたが、機器も増え、局舎が手狭になり、ご利用頂いたお客様にご不便をおかけするようになった事もあり、局としての仕事を終える事に致しました。

奥沢一郵便局はこの地で生まれ、多くの方々に支えられながらこの地で仕事ができ、郵便局としての使命を終了致しました。

「九品仏池の歴史資料を探して(1)」

奥沢四丁目 野口 英男

九品仏池に関して、入手可能な地図や書籍などに、どの様に残されているかを探してみました。

「土・まち・みどり通信」の第36号(2009.8.3) [資料①]では、「九品仏池の一生」として、「1.九品仏池の誕生」「2.昭和27年ごろの九品仏池」「3.九品仏池の消滅」がまとめられている。

1.九品仏池の誕生前

世田谷区が発行している「世田谷古地図」[資料②]は、明治14年当時、昭和4年当時、昭和14年当時、昭和30年当時がある。九品仏池は、昭和4年当時の地図では存在しないことが確認できる。

世田谷区立郷土資料館発行の図録「地図で見る世田谷」[資料③]16ページに1万分の1地形図「東京近傍十九号 碑文谷」(明治42年測図・日本帝国陸地測量部発行)があり、九品仏川や呑川の流路がよくわかる。九品仏川の源流は浄真寺の西側になっている。九品仏池はない。

2.九品仏池の誕生

世田谷古地図[資料②]の昭和14年(1939年)当時では、九品仏池があり、同昭和30年(1955年)当時では、池の中に島があることが確認できる。

「土・まち・みどり通信」第36号(2009.8.3) [資料①]では、九品仏池の誕生について、「湿地であった九品仏川の周辺を客土して畑や宅地を作った」とする説と、「東急東横線自由が丘駅の高架化するための土盛りをするために池を掘った」との説が紹介されている。それぞれの説を調べてみた。

2-1「湿地であった九品仏川の周辺を客土して畑や宅地を作った」説

玉川全円耕地整理組合が昭和30年7月に発行した「耕地整理完成記念誌 郷土開発」[資料④]の1～9ページに「耕地整理沿革概要」があり、大正12年1月15日から昭和29年7月31日までの記録が掲載されている。昭和7年9月6日に「等々力北区第一工区工事着手(浄真寺の北側に在る深さ一丈以上の不毛田約八町歩の一部を掘さくし、掘さく土を以て埋立を行い畑地に変換した。掘さくの跡が現在いわゆる九品仏池で面積3,440坪である。請負人花ノ枝喜代松、請負金30,100円)」とある。

奥沢の歴史を訪ねてXXI

奥沢史跡歩き⑥ まちなか観光東地区コース(vi)

前回の続きで、二丁目を歩く。奥沢神社の門前通りの役目を持って造られたと思われる古道といえる大蛇通りを横断して住居専用地区に入る。

自由通りが奥沢神社から自由が丘方面に延びたのは比較的最近のことである。自由が丘の街がつくられる以前は隣の碑衾村(合併前は衾村)と吉良氏や鷲草の縁があったが、この話は別の機会にする。

奥沢二丁目境界は今では世田谷の中でも比較的高級住宅地と呼ばれ土地価格も高騰しているが、この地区の殆どが本来の奥澤村ではない。正確には大蛇通りから北側は等々力村で、その飛地小字名を沖ノ谷といった。大蛇通りの南側は小字名諏訪山で、旧目黒線(目蒲線の旧名)が敷かれる前は諏訪山通りと一緒にあった。

地形を細かく見ると分かるのだが、奥沢駅付近を頂点にして九品仏川(旧名丑川、子供の頃は皆呑み川と呼んでいたのだが)に向けてなだらかな斜面になっており、通称中丸山と呼ばれていたらしい。宅地化されて不鮮明になっているが、ところどころに段差が見られるのはそのためで、以前は畑が続いていたという。そのせいか奥澤新田村と沖ノ谷の住民とはあまり仲が良くなかったらしいと何処かの本に書いてあった。奥澤新田村と、等々力村と所属が違うので仕方がなかったのだろう。

奥沢神社の祭礼は3地区に分かれて交代で担当(現在の町会の起源と言われている)していたので、多分沖ノ谷の住民はかかわっていなかったと思われる。

(私たちの住むまち奥沢の成立ちはどうだったのでしょうか、調査結果をシリーズで紹介しています。)

一方、本村の飛び地が5丁目と6丁目の境を通る学園通り付近にあった。低い流れ跡があり、江戸時代には水田耕作が行われていた。奥澤新田ができる前から入植していたのであろう。奥澤新田村も等々力村を中心に尾山・川崎などからきているので、沖ノ谷と同じとも言える。

奥澤本村ができた四百年前に奥澤界限に誰も住んでいなかったかどうかは定かではない。しかし、諏訪山遺跡や奥沢遺跡には縄文時代だけでなく、古代の遺物も出土しているので、続いていなくても居住の可能性はある。ただ、ほとんどの土地がやせていて、竹林と荒れ野が続いていたようである。

子どもの頃は海軍街と呼んでいたのだが、現在は海軍村と統一されているようである。以前から地元では有名であったが、戦後まもなくは軍隊の街としては住民も周りも表だって言いにくく、マスコミにもあまり取り上げられなかった。みかものように映画・テレビの撮影には来ていたが。

しかし、ここ数年散歩番組などでも訪れるようになり、ようやく皆の口の上ようになってきた。プラタモリでも田園調布が陸軍の街と紹介されていた。陸軍はバラバラであったが、海軍村は、江戸時代「年寄」役をしていた原氏が玉川村の全円耕地整理より1年はやく海軍事務局と提携し、自分で耕地整理をして貸し地とすることによりまとまって出来上がった。そのため勝手口を結ぶ「御用聞通り」なるものも地図に残されている。(赤松)



まちめぐり報告

当会では一〜三丁目の界隈形成地区指定を目指し、世田谷区都市整備政策部都市デザイン課が推進している【奥沢の風景を守り育てる】プロジェクトに協力していますが、今年には史跡を含めて街歩きをしました。

駅前噴水広場を後に、先ず弁天池跡に寄りました。小学校上がる前迄小さい縁日が催されていましたが、今は奥沢神社本殿横に祠がつくられ鎮座しています。

次に井戸が残り、道路から塀越しに見える「開かれた庭」が味わえる四丁目の路地を散策しました。続いて都道に出て、新奥沢駅跡へ。軌道沿いにあった道路の曲がり方が当時を偲ばせます。続いて東玉川旧早川邸を外から見学。数少ない立派な庭が無くなりそうです。

その後、都道を渡って一丁目旧奥澤本村の中心地へ。大音寺管理墓地(旧奥澤本村共同墓地)の奥澤本村由来碑碑文を読んだ後、奥沢子安公園(旧子安稻荷神跡)、大六天社、横穴古墳跡、愛宕塚跡等を見学し、大音寺・諏訪山遺跡等は遠

望のみで二丁目を目指しました。線路際の旧防空壕跡地、住居専用地区の「開かれた庭」を見ながら路地を通り、旧海軍村へ。主だった住宅を通りながら見学しました。当会の会員さんの住宅も並んでいます。

最後は奥沢神社に到着。境内に移動されていた弁財天、井戸、お地蔵さん、石碑等を見て終了しました。今回のまちめぐりには、「てくたくぶっく」(定価200円)を合計40冊、近岡悦子様・染野和夫様・大橋茂弘様より寄贈いただき、参加者の皆様に配布しました。また近岡様には、まちめぐりの途中で冷たいお茶をごちそうになり、感謝申し上げます。(赤松)



活動報告

●奥沢文化祭(10月20日・21日、奥沢区民センターで実施)

今年は奥沢地域の風景動画を中心に、パネル展示などを実施。動画は熱心にご覧頂くなど、皆様から好評でした。

●風景祭のお知らせ(11月18日(日)開催予定)

当会が世田谷区都市デザイン課および交和会と協力して、奥沢の風景の「魅力」を知っていただくために、奥沢公園(タイヤ公園)で上記のお祭りをを行います。そのためにコア会議として、たびたび準備活動を実施して来ました。会員の皆様もお誘い合せて、ぜひお出かけ下さい。詳しくは風景祭のチラシや、掲示板のお知らせ等をご覧ください。

会からのお知らせ

晩秋のつどい(11月24日(土)実施予定)

第一部:音楽会(サロンコンサート)、第二部:奥沢ガーデンタウン構想案の予定で、詳しくは晩秋のつどいのチラシをご参照願います。会員の皆様もぜひご出席ください。

落ち葉掃き(今年もやります!)

今年の落ち葉掃きは下記の日程で行います。大勢の皆様のご参加を期待して、楽しくまた美しく冬を迎えましょう。

・奥沢小学校周囲:11月29日(木)、12月5日(水)、

12月8日(土) 7:30~奥沢小学校西門集合

・海軍村・大ケヤキ道:11月23日(休)、12月1日(土)8:00~シェア奥沢集合

・九品仏川緑道:11月25日(土)、12月2日(日)

8:00~シェア奥沢集合

編集後記(中村)

今年は猛暑からいきなり秋冷というか、寒冷に一足飛び。ご体調を崩されませんように、皆様もお気を付け願います。これも地球温暖化というか、気候変動の影響なののでしょうか?ますます緑を守ることの重要性が増しています。会員の皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢2-32-11 堀内正弘 5701-5901

世田谷区奥沢2-11-8 中村 修 3718-2549

世田谷区奥沢2-41-2 玉置 敬子 3724-1077

ホームページ:<http://tsuchimidori.net>

e-mail:info@tsuchimidori.net